

広報

さかい



CONTENTS

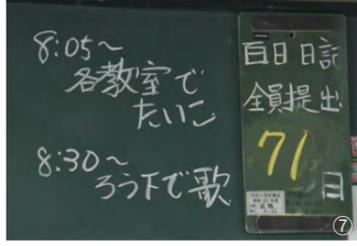
特集 休校

明日への旅立ち

生まれ変わる竹田地区 … 2



①6年生の授業の様子
②子供たちが愛用した
野球の道具③この学校
ならではの看板④気さ
くな児童⑤毎日元気な
声が響いた体育館⑥思
い出も一緒に詰め込ん
だ教室の棚⑦黒板の隅
⑧窓際の落書き



地域から、学校がなくなる……。それは、地域に住む人たちにとってとても大きな意味を持ちます。地域にとって一番大切なものを目指すべきものは、何か。大きな決断を経て、今、竹田地区が変わろうとしています。

特集

休校



「明治6年6月6日より、山竹田区本専寺堂内の一部を借り受け、授業を始めたり」。学制発布の翌年、本専寺で開いていた寺子屋を「簡文尋常小学校」としました。後に、竹田小学校となる学校です。当時、学区は石川県管轄でした。竹田地区の子供のためにと作られた学校は、長い年月を経た今、子供のことを考えればこそ、その役目を終えようとしています。

※昭和20年代の竹田小学校【写真の提供】谷間良昭さん(丸岡町山竹田)

136年続いた学校の歴史に幕

竹田小学校と丸岡中学校竹田分校(以下、「学校」)は、竹田地区の「曾谷」「岡」「山口」「山竹田」の4区の子供たちが通う学校です。

簡文尋常小学校当時から数えると、その歴史は、実に136年。多いときは、一学年に40人以上が在籍したこともありましたが、昭和40年代半ばからは、子供の数は減少の一途をたどっています。

学校は、小学校と中学校が同じ建物に同居。合わせて約40人の子供たちが学んでいます。小学1・2年生と3・4年生は複式学級。同じ教室で違う学年の子供同士が勉強しています。市では、保護者からの要望を受け、県の配置基準による教職員以外に市単独でも講師を配置し、教育の充実と複式解消に努めてきました。

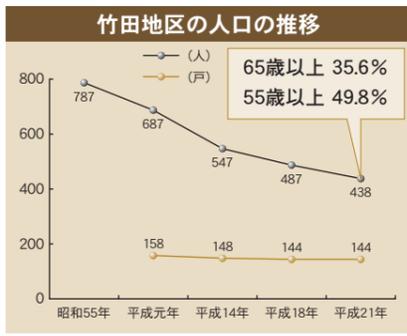
しかし、保護者の思いは別のところにありました。学年が上がって高学年になっても複式学級というのは抵抗がある。同級生の人数が少ないと、子供も保護者も幅広い交流ができません。市街地への通学は大変でも、同学年の人数が多ければ、友人が増えて交流も広がり、競争心や社会性が育つのではないかと。

明日への旅立ち 生まれ変わる竹田地区 避けられない過疎の波



地区の大部分を山林が占める中山間地。竹田地区は、丸岡町の市街地から車で約20分という近距離にあります。丈鞍山の木々や竹田川の清らかなせせらぎ、四季折々の花など、美しく豊かな自然に囲まれた盆地です。昭和30年ごろには、約1000人がここで生活していました。しかし、昭和38年の豪雪

のときに多くの住民が地区を離れ、さらに、竹田川上流の龍ヶ鼻ダムの建設に際し、流出が加速。現在の人口はおよそ、140世帯440人にまで減りました。もともと林業が盛んな地区ですが、10社ほどあった製材業者も、今では2社。区内には空き家も見られ、かつて銅山が存在したとは思えないほど、寂然とした雰囲気漂います。



50年ぶりに竹田小学校で行われた同窓会で校歌を歌う「級友」たち(平成21年11月1日)

苦渋の決断 子供たちを思えばこそ



竹田公民館 館長 竹内作左工門さん

か、今は判断できません。今後の竹田地区のまちづくりを考えていく上で、地区内のさまざまな施設のあり方について、新たな可能性や方向性が徐々に見えてくるのではないのでしょうか。

竹田地区に唯一ある保育所も、平成18年度から休園しています。休校は、卒業生にとっては母校がなくなることに、苦渋の決断でした。できることなら、将来的には学校を再開してほしい。そう願って「廃校」ではなく「休校」という選択がなされています。この選択でよかったのかどう



多くの子供たちが集立っていた教室

約20年前、地区内にある「たけくらべ広場」に、80本ほどのしだれ桜が植えられました。

山里の遅い春を彩るその美しさが評判になり、竹田のしだれ桜として広く知られるようになりました。

過疎化が進む山里に見えた、まちづくりのヒント——竹田地区をしだれ桜の名所にして、全国に発信しよう——。

この地域の資源を生かして、竹田の里づくり協議会では「しだれ桜によるにぎわいの里づくり」に取り組み始めました。19年度から、しだれ桜を沿道に植樹したり、各戸に苗木を配布したりしました。20年度からは、たけくらべ広場でしだれ桜のライトアップイベントを開催。県内外から見物客が訪れ、駐車場が不足するなど、地区内はかつてないにぎわいをみせました。

竹田地区の住民たちに、地域を盛り上げる情熱が生まれました。

求められる住民のチカラ 地域力

かすみがかった山を背景に、幽玄な雰囲気を漂わせる、たけくらべ広場のしだれ桜

もう一つの
学校。



小雨の中での下草刈り。ヘルメットに長くつを着用し、作業に取り組む子供たち(平成21年5月24日)

学校林

— 地域との絆 —



登り回には標柱も

この学校には、「学校林」があります。龍ヶ鼻ダムからさらに山奥へ、車で10分ほど上ったところにある林です。毎年初夏になると、地区の人たちと一緒に子供たちが総出で下草刈りを行い、木々の手入れを行っています。

学校林は昭和29年に、当時のPTA会長だった故・辻端彦一さんの発案で整備されました。もともと地区内の住民が所有していた山の一部が、学校に提供されました。

現在も、学校林整備活動の中心となり子供たちに手入れの指導も行っている(社)竹田文化共栄会の中川輝雄さんは言います。「雪深く、人口も少ない竹田地区にもしも何かあったときに、この木を切つて財源にすればいい。学校林は、子供たちの親や祖父母らも大切に守ってきたもの。こうして代々受け継がれてきた先人の『真心』や知恵、自然を愛する精神を、今の子供たちにも引き継いでほしいんです」。

当時、学校林に植えられていた高さ1メートルにも満たなかった苗木。今、その幹周りは、大人が2人がかりでやっと囲める太さにまで成長しています。

竹田小学校の体育館ステージに、小型のグランドピアノがあります。校歌を歌うときなどには欠かせない、学校の大切な備品です。

ピアノなど高額の備品は、学校の創立や記念事業にあわせて設置されることも多く、『寄贈』や『〇年度卒業生一同』など記してあるのをよく見かけます。

しかし、このピアノには、それらの記載が一切ありません。それもそのはず——。

このピアノは、地域の人たちの愛情が形になったものだからです。

学校の寄贈者芳名録に、「グランドピアノ 1台 竹田小学校林 昭和50年9月」との記録があります。「地域の人や子供たちが整備している学校林の木を切つて得た財源で、子供たちのためにピアノを購入したのだと思います。また、その不足分は、地域で寄付金を募つて補つたとも聞いています」と、竹田小学校の松浦悦子校長は話しています。

「応援歌」しかなかった竹田小学校に校歌ができたのは、昭和54年3月。当時の子供たちが初めて校歌を歌ったとき



ステージ袖に置かれたピアノ。子供たちは、この音色に慣れ親しんできた

も、昭和57年6月の小学校創立百周年記念式典のときも、このピアノはきつと、子供たちの歌声をのせて高らかに伴奏を響かせたことでしょう。

そして、まもなく迎える「最後のとき」も——。

大人は子供を思い、守り育てる。子供は、恩恵に感謝しながら地域の中にとけ込んでいく。山里の竹田地区だからこそ受け継がれている精神があります。

人と地域の太く強い絆、独特の一体感が、ここには自然に存在します。

意識を変える 地域が変わる

「竹田地区にとって、ここ2、3年がカギ。大きな「賭け」なんです」。そう話すのは、竹田の里づくり協議会の廣瀬哲夫さんです。市では、竹田地区に北陸最大級の水車を建設する計画を進めています。竹田地区と市が一体となり、四季を通じて観光できる地区に発展させようというもの。観光客を増やし、定住人口を増加させ、地域再生につなげる――。竹田地区は今、大きく様変わりしようとしています。

竹田地区の挑戦

ちょうど竹田地区は、石川県加賀市から永平寺町を結ぶ国道364号の観光ルート上に位置します。県境の「丸岡・山中温泉トンネル」が平成16年に開通して以降、観光客など多くの車がこのルートを通行するようになりました。

今年度、市が建設を進めている北陸最大級の水車は木製で、直径8メートルと直径5メートルの2連式。竹田地区で生産されたスギも使用しています。国の補助金を活用したもので、国道を挟んで竹田小学校のちょうど向かい側の農地に、今年の夏にもお目見えする予定です。



ライトアップされたしだれ桜 建設予定の水車の模型 竹田川のせせらぎとしだれ桜

「しだれ桜の里」へ 巨大水車や既存施設の活用も

市と竹田地区では、竹田地区一体を公園化する計画を進めています。「山の駅」として、水車小屋に常設する地元産品「竹田ブランド」を販売する

る施設や、イベントなどができる多目的広場・レンタサイクル場などの整備を計画しています。将来的には、水車小屋を中心に、竹田地区全体にしだれ桜を植樹。たけくらべ広場のしだれ桜には、ライトアップ設備を常設するなど、竹田地区を「しだれ桜の里」として、イメージを完成させます。



多くの観光客を魅了する、たけくらべ広場の桜

水車小屋周辺やたけくらべ広場などを結ぶ散策路や、竹田川に沿ったサイクリング道を整備する計画も進行中です。竹田地区内に点在する名所旧跡や観光スポットをつなげることで、年間をおしたにぎわい創出を狙います。

また、竹田地区は今年度、国土交通省の「既存施設を活用した集落活性化検討調査事業」の対象に選ばれています。この事業は、遊休化した公共施設や古民家などを有効活用しながら、地域活性化を推進するもので、今年度中に計画案がまとまることになっています。



竹田の里づくり協議会
会長 廣瀬 哲夫さん

「住みたい」と思えるまちづくりを
チャンスを生かせるかは意識次第
自立に向けて、今が頑張りどき

この竹田地区にいろんな計画が進んでいて、今が地区を活性化させる絶好のチャンスだと思っています。今年、珍しくまとまった雪が降った影響で、水車の着工が遅れています。また、姿が見える状況ではなく、住民も実感がわかないというのが実情かもしれません。

とはいえ、完成に向けて準備しなければいけないことは、たくさんあります。ジネンジョなど既存の特産品に付加価値をつけてブランド化するための研究開発、「山の駅」で販売するための研究開発、その運営体系の確立――それらはもちろんのこと、今後、体験や宿泊など滞在を希望する観光客を受け入れられるよう、私たち地元に住む者の協力が不可欠なのです。

もともと竹田地区は、地域としての団結がとて強いところです。今こそ、私たちがもっと竹田を好きになって、さらに一つになって知恵を絞り、努力すべきだと思うのです。



第25回たけだじょんこる雪まつりのフィナーレを飾った雪中花火(関連P10)

自然と共生する取り組み

竹田地区の活性化を進めていくことは、単に一地区だけの問題ではありません。水車は、豊富な谷水を巡らせることで、自然の循環を促します。しだれ桜を植樹したり、ブナ林を間伐して「竹田ブランド」として加工するぜんまいなどを栽培したりすることで、CO₂削減にもつながります。山際を整備することで、イノシシ対策の効果も期待できます。

県内・国内の中山間地を抱える耕作放棄地の増大や山林荒廃の拡大など、深刻化している環境問題を解決する一端にもなるのではないのでしょうか。



その枝ぶりは、子供にも手が届くほど

歩いてもらえる観光地へ。「住みたい」と思える地域へ――。過疎化に悩んでいた竹田地区に、未知の可能性と新たな希望が広がり始めています。

まちづくりの主演は「人」 逆境をチャンスに

学校に子供たちの歓声が聞こえなくなるということは、地域にとって本当に寂しいことだと思っています。学校の歴史とともに紡いできた竹田地区の人のつながり、地域づくりを考えたとき、まさに苦渋の決断だったでしょう。

然し市民共有の貴重な財産であり、守り育てていかなければなりません。だからこそ、竹田地区でしかできない、しだれ桜の里づくりや大型水車の設置など、オンラインワンの事業を展開し、活性化とにぎわいの創出を目指しているのです。



坂本 憲男 市長

建物の利活用も、活性化とにぎわいを生み出すための大きなツールです。どういう形で活性化を実現していくかは、そこに住む皆さんの熱意次第。地域の歴史とともに歩んできた「人の力」に期待しています。

「僕たちの景色」

作詞/作曲 ヒナタカコ

おだやかな山間にたたずみし この学び舎に別れ告げる時
重ね合う歌声はなつかしく きっといつかの君に届くだろう

春に揺れるしだれ桜 夏に泳いだ竹田川
何度でもよみがえる 思い出の景色
走り抜けた校庭の脇 願いこめたテニスボール
いつまでも忘れない 僕たちの景色

特別な場所だからこそきっと 巡り会えたと思う仲間たち
語り合い描いた夢の地図を またいつの日か広げて笑おう

秋に染まるたけくらべ山 冬に輝く銀世界
鮮やかに移りゆく 僕たちの景色
とけた雪は川を下り 遠い街の花を咲かす
新しい春の日を みんなで見に行こう

いつかみんな大人になって ひとりひとり旅立って行く
いつの日か立ち止まり 振り返る景色
どんな辛いことがあっても 君を励まし続けてる
その翼 果てしない大空に届け

友よ きっと その涙は いつか夢の花を咲かす
新しい春の日を みんなで見に行こう
新しく描き出そう 僕たちの景色

※著作権者の許可を得て掲載しています

「休校」という現実の一方で、地域の活性化という大きな可能性を見いだした、竹田地区。地域の輝きは、そこに住む人の誇りや愛着心が強ければ強いほど増していきます。たくさんの葛藤と変化を乗り越え、竹田地区は今、新しい「明日」へと歩みだしているのです。

地域で何か行事をするとき、その中心にはいつも学校がありました。学校は地域や人をつなぐところ、交流の拠点でした。これから続く長い歴史の中で、もしかしたら学校は、その姿を少しだけ変えることがあるかもしれませんが、しかし、間違いなく学校は、人の交わりの中に、そして地元の人たちの心の中に、いつまでも存在し続けることでしょう。

3月21日(日)は、休校式。真心と思いの詰まったピアノで、最後の歌を奏でます。笑顔、涙、不安、そして希望——すべてがキラキラと光り輝いています。

明日への旅立ち



シンガー・ソングライター
ヒナタカコさん

美しい竹田の景色に導かれるようにみんなと出会い、一緒に思い出の曲を作ることができて良かったです。これから先、たくさんの山や谷があるかもしれませんが、美しい自然に囲まれ育ってきたみんななら、そんな人生の景色も色鮮やかに描いていけるはず。みんなが大好きな竹田の景色、故郷に感謝しながら、「僕たちの景色」を自由に描いてほしいと思います。

子供たちとヒナさんとの出会いは、昨年6月に行われた全国植樹祭。サブ会場となったたけくらべ広場で一緒に歌ったことがきっかけでした。子供たちは、歌作りに生かしてもらおうと、竹田地区の印象や残したい言葉をカードにつづり、ヒナさんへ託しました。

こうして完成した歌が、今年1月にヒナさんから子供たちに初披露。ヒナさんから直接歌い方の指導を受けるなど、休校式での発表に向けて、子供たちは毎日練習を重ねています。



ヒナさんの歌声で披露された「僕たちの景色」に聴き入る子供たち(平成22年1月20日)

子供たちの思いを歌に

そして、3月——。竹田小学校の児童と丸岡中学校竹田分校の生徒たちは、三国町出身のシンガー・ソングライター、ヒナタカコさんと一緒に作った「思い出の歌」の練習に取り組んでいます。大切なときを、胸に刻むために——。

羽ばたけ、明日へ

みらい

◀ヒナさんに託されたカード



竹田地区体育大会にて(平成21年9月20日)



一日一日を大切に過ごしてきた子供たち

× タボ予防のために
教室を開講 2月9日(火)

メタボリックシンドローム予防に関心のある市民を対象に、坂井健康センターで「内臓脂肪取れーニング教室」が開かれました。全4回の初回は、胸囲や体重、体脂肪などの健診結果に基づき、グループで意見の交換を行ったり、改善点などについて話し合ったりしました。今後、医師の講義や健康体操などを通して、メタボ予防に取り組んでいきます。



▲健診結果からグラフを作成し、自分の改善点を把握



▲市長に提言書を渡す志尾章代表

協 働のまちづくりを目指し
市民会議から条例案 2月9日(火)

「坂井市まちづくり基本条例」の素案がまとまり、市まちづくり条例を考える市民会議から提案されました。素案には、個性豊かで活力ある地域社会を実現していくための市民の権利や役割、市の責務など“まちづくりのルール”が明記されています。今後、パブリックコメントなどを経て議会に諮り、22年度中の条例制定を予定しています。

福 井ふるさと大使が来校 2月12日(金)
子供に夢や魅力を伝える 26日(金)

「福井ふるさと大使21世紀塾」が磯部小学校と三国中学校で開かれ、市ゆかりの福井ふるさと大使・西ゆうじさんと東光英昭さんがそれぞれ講師を務めました。

●児童が創作の楽しさを学ぶ(12日)

磯部小6年生が、作家・西さんから物語を作るコツや楽しさを学びました。“創作遊び”を通し、西さんは「楽しい感覚が身につくと、大変な仕事でも楽しめる」と児童に助言していました。



▲グループで考えた「登場人物像」を西さんにチェックしてもらった児童たち



▲生徒たちに「魅力を学び、地元を誇りを持ってほしい」と語る東光さん

●生徒が地元への愛着を深める(26日)

三国中2年生が、東光さんほか地元有識者3人から三国について学びました。生徒たちが事前に学習した歴史や文化など10のテーマ発表に対して助言や説明を行い、ふるさとの魅力を伝えていました。

25 年の歴史に幕
最後の雪まつりを開催 2月7日(日)

今年で最後となる「たけだじょんころ雪まつり」が、竹田小学校で開かれました。雪があふれる最高のコンディションとなった会場には、イベントの終了を惜しむ地元の人たちなどでにぎわいました。体育館では、これまでの雪まつりを振り返るパネル展示やビデオ上映など、さまざまな催しが行われました。フィナーレの雪中花火で来場者たちは、最後のまつりを惜しみながらも、夜空に美しく咲き広がる大輪の花々に酔いしれていました。



▲市内各校から集まった児童 ▲グラウンドに高く盛られた雪山でそり遊びをする子供たち ▲雪あんどの明かりに見入る子供たち



▲フィナーレを飾った雪中花火とどんど焼き

補 助金の有効かつ適正運用へ
合理化委から答申 2月9日(火)

「市補助金等の合理化に関する最終提言書」が、市補助金等合理化委員会から答申されました。選定された16団体の検証結果などを基に市補助金が有効かつ適正に運用されるよう、今後の補助金のあり方について提言されたものです。市では、22年度中に議会の意見を聞きながら、見直し作業を進めることにしています。



▲市長に提言書を渡す服部茂幸委員長



▲代用品を上手に使ってそばを打つ参加者

身 近なもので簡単そば打ち
気分は“そば職人” 2月7日(日)

家庭にあるものを使って気軽にそばを打ち、地元のそばのおいしさを知ってもらおうと、長畝公民館で「家庭でできる簡単そば打ち教室」が開かれました。“麺棒”や“こま板”といった専門的なそば打ちの道具を、ラップの芯や空き箱などで代用。参加者は家庭でも簡単にそばが打てることを学び、そばに対する愛着もさらに深めていました。

基 本法制定から10年 男女が尊重しあえる社会を 2月20日(土)

「新たなステージでのリーダーを」と題した市民企画講座が、市多目的研修集会施設で開かれました。男女共同参画社会の実現を目指す市民団体「坂井ソフィアの会」が主催。会員や市民など約60人が参加しました。講師の高田洋子福井大学教授が「固定的な性別役割分担はいけない。周囲の理解も大事」などと訴え、参加者は熱心に耳を傾けていました。



▲より確かな男女共同参画社会を目指して開催

青 年部がプロレスとタッグし コラボグッズをチャリティ販売 2月27日(土)

市商工会青年部の企画による、プロレスラー・武藤敬司さんの講演会がハートピア春江で開かれ、会場内ではプロレスと坂井市を組み合わせたコラボグッズの販売が行われました。製作されたのはTシャツとタオルの2種類。「市章」「越前がに」といった坂井市ならではのものと武藤さんとが見事に融合した商品を、多くの人が買い求めていました。



▲デザインは市内の中学生が担当。売上金は「社会福祉に役立てほしい」と青年部から市に寄付

まちの話題が満載の「フォーカス」は、市のホームページ(<http://www.city.fukui-sakai.lg.jp/>)からもご覧いただけます。ホームページでは「ホット」な話題を随時公開。また、上記以外の話題も紹介しています。



▲優勝報告に訪れたメンバー

夢 が叶い 感無量 RUCK ガールズが全国優勝 ~14日(日)

福島県で行われた「全国ガールズ8サッカーフェスティバル大会」で、丸岡町の女子サッカーチーム「丸岡RUCKガールズ」が初の全国優勝を成し遂げました。19日には市役所に優勝報告に訪れ、キャプテンの菅谷麻紗衣さん(高椋小6年)は「前は悔し涙だったけれど、今回嬉し涙を流すことができよかった」と喜びを語っていました。



▲松の苗木植えや稚魚放流など、地元で根ざした環境保護の取り組みを発表する児童

残 そう豊かな自然 実践校が年間活動を報告 2月27日(土)

芦原三国ライオンズクラブの結成50周年記念事業「ぼくたち・わたしたちが考える しぜんはともだち発表会」がみくに文化未来館で開催されました。同クラブが指定した、環境実践校の三国西小学校と雄島小学校児童が1年間の活動内容を発表。植樹や清掃活動などの取り組みから、児童一人一人の環境に対する意識の高まりが感じられました。

バ レンタインにサバさばき 料理上手な男性はすてき 2月14日(日)

東十郷まちづくり協議会による、サバをまるごと一匹使った「男の料理教室」が東十郷公民館で行われました。地域の男性20人が参加し、煮付けや南蛮漬けなど料理4品に挑戦。参加者は慣れない包丁の扱いに悪戦苦闘しながらも、食生活改善推進員から包丁の入れ方や骨の取り方などのコツを教わるなどして、見事にサバをさばいて調理していました。



▲1人1匹ずつ、丁寧にサバをさばいていく参加者。包丁の入れ方に戸惑いも

段 ボールで手軽にエコ 堆肥作りを学ぶ 2月17日(水)

段ボールを使った生ごみの堆肥化方法を学ぶ「ダンボールコンポスト講座」がハーツ春江で行われました。食や環境を考える母親のグループ「こどもごはん」の代表・宮田宏美さんが、材料や方法、上手に堆肥化させるコツなどを紹介。参加者は熱心にメモを取り、次々と質問をするなど、手軽な堆肥化方法に対する関心の高さがうかがえました。



▲実際に段ボールで堆肥化された生ごみを見て、参加者は臭いの少なさに感心しきり



▲音楽やセリフは一切使わず体の動きだけで表現するワークショップ生

自 由に そして大胆に 前衛的なダンスを披露 2月14日(日)

表現方法に型がない独創的な踊り「コンテンポラリーダンス」のワークショップ生が、みくに文化未来館で成果を発表しました。ダンスユニット・セレノグラフィカの公演に合わせて行われたもの。出演した5人が「かごめかごめ」や「けんけんば」などの遊戯に興じる子供の様子をユーモラスなダンスで描写。身体表現の可能性をアピールしていました。



▲どのチームも実力十分。見ごたえのある試合が次々と

激 しい攻防で手に汗 勝利目指して熱戦展開 2月14日(日)

市内の子ども会相互の交流を目的に、市子ども会育成連絡協議会がドッジボール交歓大会を今福体育館で行いました。各町の予選を勝ち抜いた男女11チームが参加し、男子の部と女子の部に分かれ熱戦を展開。観覧席からの声援が飛び交う中、立て続けに飛んでくるボールを見事にかわすなど、手に汗握るシーンが数多く見られました。

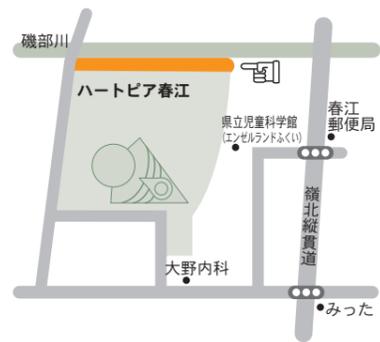
HotLine ホットライン

市民の皆さんの生活に直結する制度やイベントを紹介するコーナーです。



「寄附による市民参画条例」 各地域自治区の特徴を活かす事業 新名所がまもなく誕生します

● 問い合わせ 春江総合支所地域課 ☎51-9401
坂井総合支所地域課 ☎50-3060



地域に親しまれ、春江地区内でも有数の桜の名所である「ハートピア春江」。ハートピア春江の桜並木（磯部川沿い）にボンボリを取り付けます。設置数は約300個で、桜並木300mにわたって取り付けます。

● 設置場所
ハートピア春江の桜並木（磯部川沿い）



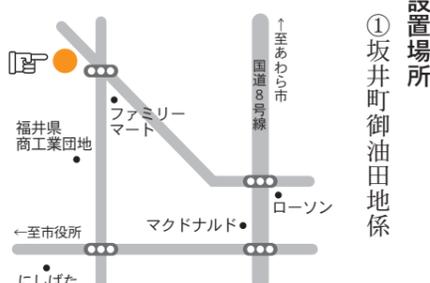
▲ボンボリは3月下旬に設置し、26日には点灯を開始する予定。ボンボリの明かりに照らし出される美しい桜をご鑑賞ください



▲展示場・かがしはすでに設置済み。3月末には下部に公募で選ばれた交通安全標語看板が取り付けられます



②坂井町下兵庫地係



①坂井町御油田地係

新名所① 「ハートピア春江」桜並木のボンボリ照明

平
成20年10月からスタートした、「寄附による市民参画条例」。その政策メニューのうち、各地域自治区の特徴を活かす事業として寄付を募った2つの事業が実施されることで、市内に新たな名所が誕生します。

● 点灯時間
18時～21時30分

● ポンボリ点灯期間は桜の開花時期1カ月程度を予定しています。

● 市民の憩いの場として、また新たな桜の名所としてお楽しみください。

新名所② 「さかいマイロード事業」交通安全かがし

今まで集まった寄付金に、国の経済対策臨時交付金を加えて実施します。



4月から 蛍光灯・電球のリサイクルを開始します

● 問い合わせ 環境衛生課 ☎50-3032



② 毎月第4水曜日の6:00～9:00に各地区の公民館へ出しましょう
※市役所本庁・各総合支所では常時回収を行っています



① 割れていない蛍光灯や電球は、4月以降は燃やせないごみとして出さないでください



④ なお、割れてしまった蛍光灯や電球については、従来どおり燃やせないごみとして出してください



③ 専用の回収箱に、電球と蛍光灯とを分別して入れてください。入りきらない大きさのものは回収できません

蛍
光には有害な水銀が微量ながら含まれているほか、ガラスとしてリサイクルが可能なことから、4月から分別回収・リサイクルを開始します。次のとおり排出方法が変わりますので、ご協力をお願いします。詳しくは「ごみカレンダー」をご確認ください。

● 回収品目 家庭から出た蛍光灯・電球・水銀体温計
※事業所からのものは対象外です

● 回収場所および時間
・各地区公民館（毎月第4水曜日6時～9時）
・市役所本庁（毎日6時～18時）
・各総合支所（平日8時30分～17時30分）

優良実践者・団体を表彰

● 問い合わせ
坂井市民運動推進協議会（生涯学習課内）
☎50-3162

美
しい坂井地区を創る協会では、市民指標に根ざす「ふるさと学習」や「市民運動」の実施とその充実にたゆまぬ努力を続けている次の皆さんを表彰しました。（敬称略）

【個人】
中井 三郎（春江町）
笠原 隆洋（坂井町）
酒井 松男（丸岡町）

【団体】
春江町江留子ども会（春江町）

21年度美しい坂井地区を創る協会優良実践者・団体を表彰しました。

FROM 市長

JR丸岡駅を 新たな交流の場に

市長定例記者会見が2月15日（月）に市多目的研修集会施設で行われ、坂本市長は次のように述べました。

地域活性化の一環としてJR丸岡駅を改修。JR丸岡駅舎を中心としたまちづくりを進めるため、市はJRと協議。平成12年に無人駅となり、不要となった駅舎部分を譲り受け、改修を行います。

市民の活動拠点としての多目的ホールを新設。また、かがしの展示コーナーや観光コーナーなども設け、乗降客や観光客への情報発信の場としても活用していきます。そのほか、高齢者や障がいのある人でも利用しやすいよう、スロープや手すり、多目的トイレなども整備します。改修は2月初旬から着工しており、4月末には完成予定です。



**介護サービスが必要になったら、
まずは要介護認定の申請を！**

● 問い合わせ

三国坂井地域包括支援センター (三国)☎82-7576 (坂井)☎50-3063
丸岡春江地域包括支援センター (丸岡)☎68-0811 (春江)☎51-9404

介 介護保険サービスを利用するためには、支援や介護が必要かどうかの認定(要介護認定)を受ける必要があります。

① 申請 本人または家族が申請してください。

② 調査 坂井地区介護保険広域連合から調査員が申請者宅や入居・入院施設を訪問し、心身の状態などの聞き取り調査を行います。

③ 審査・認定 聞き取り調査や医師の見書をもとに、支援・介護を必要とするかどうかを審査します。

④ 結果通知

認定の結果が郵送で届きます。結果が届いたら、居宅介護支援事業所や各包括支援センターに連絡してください。

⑤ 介護サービス計画の作成 本人や家族の要望をもとに、どのようなサービスを利用するかケアマネジャーと話し合いをし、介護サービス計画(ケアプラン)を作成します。

⑥ 介護サービスの利用 ケアプランをもとに、介護サービスの利用が始まります。サービスには訪問サービス、通所サービスのほか、在宅での生活を支えるための住宅改修費や福祉用具購入費の支給、福祉用具貸与などのサービスがあります。

介護に関する心配事などは、最寄りの地域包括支援センターへご相談ください。



**災害時の福祉向上へ
「福祉避難所」の協力協定を締結しました**

● 問い合わせ 社会福祉課 ☎50-3041

市

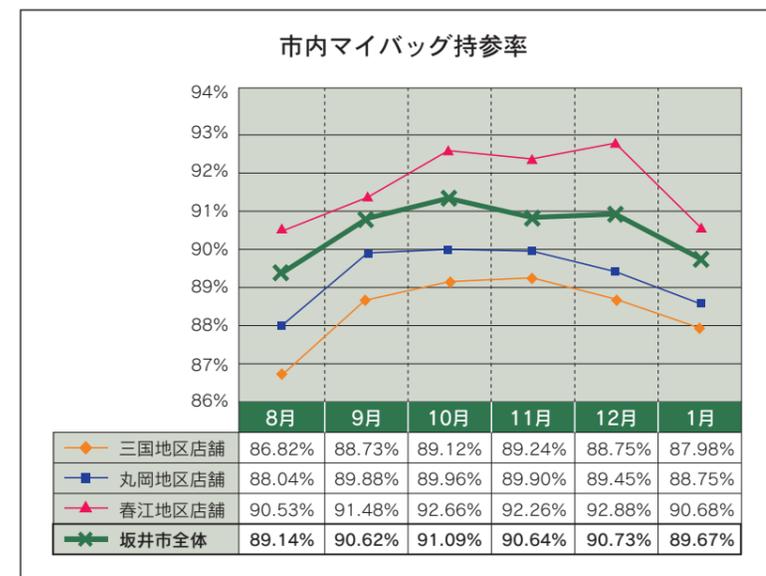
では、高齢者や障がいのある人など、災害発生時に自力で避難することが困難な人(災害時要援護者)を支援する体制づくりに取り組んでいます。今回、本市とあわら市の医療・社会福祉法人と「災害時における福祉避難所の設置運営に関する協定」を締結。左記の各施設は、災害時に一般の避難所での共同生活が困難な人の受け入れ先である「福祉避難所」になります。

施設名	施設区分	所在地
白楽荘	介護老人福祉施設	三国町梶49-18
東尋坊ひまわりの丘	介護老人保健施設	三国町陣ヶ岡16-13-18
ディーバあかね	介護老人保健施設	丸岡町羽崎31-11-3
長寿園	介護老人福祉施設	丸岡町山崎三ヶ28-28
長寿の郷	地域密着型介護老人福祉施設	丸岡町八ヶ郷22-5
かすみが丘更生寮	知的障害者入所更生施設	丸岡町女形谷59-17
かすみが丘通勤寮	知的障害者通勤寮	丸岡町女形谷59-16
いちい荘	老人福祉センター	春江町江留中10-15-1
ケアセンター ゆり	地域密着型介護老人福祉施設	春江町本堂27-1-1
ガーデンハイツ春江	介護老人福祉施設	春江町針原48-28-1
プライムハイツ春江	地域密着型介護老人福祉施設	春江町針原59-2
坂井老人福祉センター	老人福祉センター	坂井町下新庄19-1
豊楽園	介護老人福祉施設	坂井町下関42-4-1
潟池野	地域密着型介護老人福祉施設	坂井町下関42-4-2
坂井ケアセンター	介護老人保健施設	坂井町折戸1-58
金津サンホーム	身体障害者入所療護施設	あわら市花乃杜3丁目22-2



マイバッグ持参率を公表します

● 問い合わせ 環境衛生課 ☎50-3032
市消費者団体連絡協議会(市民生活課内) ☎50-3030



※持参率は市内のレジ袋無料配布中止18店舗での買い物客から算出
※坂井地区はレジ袋無料配布中止店舗なし

昨

年8月からレジ袋の無料配布中止が始まり、市ではこれまで買い物袋(マイバッグ)の持参やレジ袋使用削減を推進してきました。6カ月が経過した今、市内のマイバッグ持参率を公表します。

初

夏の城下町を、あなたに合ったコースで駆け抜けませんか。
一般男子と一般女子の各年代別、中学生男子・女子、小学男子・女子、ファミリー、ニコニコランニングの部門を用意しています。



▲昨年の様子

申込期間
3月15日(月)～4月30日(金)

**第5回記念 坂井市古城マラソン
参加者を募集**

● 問い合わせ 市体育協会 ☎68-0123
✉info@s-taikyo.jp
http://s-taikyo.jp

6月6日(日)※雨天決行
丸岡城公園ふれあい広場前スタート
コース
ハーフ、10km、5km、3km、2km
参加費
一般 2,500円
ファミリー 2,000円
小中学生 500円
ニコニコランニング
一般 1,000円
小中学生 400円
申込方法
申し込み用紙兼振り込み用紙に記入し、最寄りの郵便局から振り込んでください。三国・丸岡・春江・坂井体育館での直接申し込みもできます。

Profile

1977年11月22日生まれ、徳島県鳴門市出身。99年に世界選手権セビリア大会で銀メダルを獲得し、史上最年少のメダリストに。腰高で軽やかなランニングフォームは、専門家の間でも「理想的」「エレガント」と形容されるほど。



▲市橋 有里さん

今年のゲストランナーは元マラソン選手・市橋有里さん

お知らせ

information

国民健康保険の加入・喪失手続きは14日以内に

3月、4月は就職や引っ越しなどが多い時期です。国民健康保険に加入するときや、やめるときは、14日以内に届け出が必要です。

■喪失手続きは忘れずに

国民健康保険の加入日は、手続きに来た日でなく、今まで加入していた健康保険の資格を喪失した日となります。届け出が遅れると、保険料もさかのぼって納付しなければなりません。

また、就職した場合は会社などの健康保険に加入することになり、喪失手続きをしないと保険料を二重に納付することになります。

喪失手続きは自分でしなければなりませんので、忘れずに手続きをお願いします。

手続窓口 各総合支所市民課

☎保険年金課 ☎50-3031

国民健康保険 70歳以上の自己負担を1割に据え置き

国民健康保険制度の改正で、70歳以上75歳未満の人の自己負担割合が1割(現役並み所得者は3割)のまま据え置かれます。

対象者には3月下旬に、4月1日から使用する新しい保険証をお送りします。現在使用している保険証は返還不要ですが、新しい保険証が届いたら、古い保険証ははさみで細かく切断するなどして、確実に処分されるようお願いします。

☎保険年金課 ☎50-3031

タクシー料金を助成 申請受付は3月25日(木)から

市では、車の運転ができない障がいのある人(在宅)がタクシーを利用するときの料金の一部を、乗車券として助成します。

申請は年度ごとに必要です。5月以降に申請した場合、交付枚数は月割りになりますのでご注意ください。

対象 ● 身体障害者手帳の1・2・3級の人
● 療育手帳のA1・A2・B1の人
● 精神障害者保健福祉手帳の1・2級の人

持参物 各種手帳、印鑑

申請窓口 各総合支所福祉課

☎社会福祉課 ☎50-3041

協会けんぽ保険料率を改定します

協会けんぽでは、昨今の不況の影響による保険料収入の減少や、新型インフルエンザなどによる医療費の支出増により、保険料率の大幅な引き上げを行わざるを得なくなりました。

加入者の皆さんの医療と健康、生活を支えるためにご理解をお願いします。

現行 4月納付分から 8.20% ⇒ 9.34%

※40歳～64歳の方は、全国一律の介護保険料率1.50%(現行1.19%)が加算されます

☎全国健康保険協会福井支部 ☎27-8301

坂井合同庁舎の電話番号が変わります

現在の代表電話を4月から廃止し、事務所ごとの直通電話に切り替えます。なお、FAX番号に変更はありません。

直通電話番号一覧	
● 県税事務所坂井県税相談室	☎81-3179 ☎81-3194
● 坂井農林総合事務所企画振興室	☎81-3096 ☎82-2805
● 農業経営支援部	☎81-2769
● 技術経営支援課	☎84-8043
● 経営支援グループ	☎84-8043
● 丘陵地活性化支援グループ、産地育成グループ	☎84-8042
● 地域農業振興課	☎81-3222
● 林業部	☎82-8134
● 林業・木材活用課	☎81-3223
● 事業課	☎84-8052
● 農村整備部	☎82-8480
● 計画課	☎82-8481
● 開発課	☎84-8045 ☎84-8046
● 整備課	☎84-8047
● 坂井地区地方教育委員会連絡協議会	☎81-3224 ☎82-7760

☎坂井農林総合事務所企画振興室 ☎82-2800(3月31日まで)

福井地方法務局 大野支局を廃止・統合します

大野支局は、3月23日(火)をもって廃止し、福井地方法務局(本局)に統合されます。

これに伴い、大野支局が管轄していたすべての業務は3月23日(火)から福井地方法務局で取り扱うこととなります。

統合先 福井地方法務局 (福井市春山1丁目1-54)

☎福井地方法務局総務課 ☎22-5090

平成22年度 国家公務員採用試験

人事院は22年度中に下記の採用試験を行います。

受験案内・申込書は郵便でも請求できます。詳しくは人事院中部事務局まで。

■Ⅰ種試験

受付期間 インターネット
4月1日(木)～3日(土)
郵送または持参
4月1日(木)～8日(木)

一次試験 5月2日(日)

■Ⅱ種試験

受付期間 インターネット
4月10日(土)～14日(水)
郵送または持参
4月12日(月)～21日(水)

一次試験 6月20日(日)

■Ⅲ種試験

受付期間 6月22日(火)～29日(火)
一次試験 9月5日(日)

☎人事院中部事務局

☎052-961-6838

☎http://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.htm

リサイクル

recycle information

ゆずります	ゆずりません
五月人形、幼児用バギー、学習机、2人乗りベビーカー	レコード(レコード盤なら何でも可)、電気蓄音機(蓄音機とラジオが兼用になっているもの)、ぜんまい式蓄音機、大人用自転車(24～26インチ)、中ぎおの三味線(どんな状態のものでも可)、CDラジカセ、衣装ケース、130cm以上の女の子の冬コート、戦前の布団や着物の生地(木綿・絹・麻、ぼろ可)、電気こたつ(75cm×75cm)、洗濯機、電子ピアノ、パソコン(デスクトップ・ノート、壊れていても可)、電気洗濯機、デスクトップパソコン、二層式洗濯機か全自動洗濯機、草刈機、女子用ベビー服(70～80cm、古着可)、大福帳(和紙)、本棚、毛布(古いもの、150cm×200cm程度)5枚、着物の古着や野良着(木綿、絹、麻、かすり)、アナログテレビ(14インチ)、アナログテレビ(20インチ)、チャイルドシート、ワープロ、高齢者用手押し車(小)、ベビーベッド、ジュニアシート

申込方法 電話で下記まで

※無償の品物のみ取り扱います
※掲載期間は6カ月

☎市民生活課 ☎50-3030

イベント情報

◇丸岡城桜まつり

満開の桜の中、丸岡城で春を満喫しませんか。

期間中はぼんぼりも点灯されます。

とき 4月1日(木)～20日(火)
※3日(土)、4日(日)に
メインイベント

ところ 丸岡城周辺

内容 ● 城下市(10・11日も実施)
● わんぱく広場
● 戦隊ショー
● バルーンアートショー
● 太鼓演奏 など

天装戦隊ゴセイジャーが やってくる!

4月3日(土)
①11:00～
②14:00～



©2010 テレビ朝日・東映AG・東映

☎観光課 ☎50-3152

食卓に もう一品! 食生活改善推進員の かんたん料理レシピ

小松菜のサラダ



坂井地区食生活改善推進員

栄養成分/1人分

エネルギー	29kcal
タンパク質	0.8g
脂質	2.0g
塩分	0.1g

材料/4人分

小松菜	80g
モヤシ	80g
ニンジン	40g
サラダ油	小さじ2
酢	大さじ1/2
レモン果汁	小さじ1
塩・こしょう	少々
しょうゆ	小さじ1/2

- 作り方
- ① 小松菜はさっとゆでた後、水にさらして冷やし、3cmくらいに切る。
 - ② モヤシは根を切り、ゆでて冷やす。
 - ③ ニンジンは千切りにしてゆで、冷やす。
 - ④ Aを混ぜ合わせてドレッシングを作り、小松菜・モヤシ・ニンジンを合える。

ポイント

☝ 小松菜はゆですぎないように注意!

栄養価の高い野菜を食卓に!

小松菜は緑黄色野菜の代表で、あくが少なく食べやすい食材です。また、カルシウムやビタミンが非常に多いのが特徴です。この栄養素たっぷりの小松菜をサラダにして、ぜひ食卓に取り入れてみましょう。

☎健康長寿課 ☎50-3040

募集

invite information

市営住宅入居者を募集

所在地	団地名	部屋	家賃
三国	立田	2号棟/2階(2DK)	17,500円～
		3号棟/1階(2DK)	
		車いす対応室4号棟/1階(3DK)	
	新緑ヶ丘	浴槽なし4号棟/3階(3DK)	14,500円～
		浴槽なし2号棟/3階(3DK)	
		2号棟/3階(3DK)	
三国東	1号棟/1階(3DK)	未定	
	※高齢者(60歳以上)のいる世帯のみ		
	1号棟/5階(3DK)		
	2号棟/5階(3DK)		
丸岡	霞ヶ丘	9号棟/2階(3DK)	23,000円～
	愛宕	2号棟/3階(3DK)	14,800円～
坂井	朝日	1号棟/3階(3DK)	19,000円～
		2号棟/1階(3DK)	
	朝日(特公賃)	2号棟/2階(3DK)	50,000円～
		2号棟/2階(3DK)	

※車いす対応室は、下記申込資格に加え別要件が必要
 ※単身入居希望の人は、3DKの部屋には入居不可

21年中に申し込みをした人は再度申し込みが必要になりますのでご注意ください。

- 申込資格**
- 住宅に困窮している
 - 収入基準に該当
 - 税の滞納がない
 - 市在住の連帯保証人が必要 など

家賃 入居団地、世帯の収入に応じて決定

申込方法 申込書ほか必要書類を下記まで直接提出
 ※申込多数の場合は抽選

申込締切 3月26日(金)

抽選日 4月8日(木)9:00～

☎ 建築住宅課 50-3052

「みくに新聞」を探しています！

「みくに新聞」は、明治39年に創刊され昭和17年まで36年間続いた地元新聞です。

現在、みくに図書館では複写を含め収集を行っており、文豪・室生犀星も携わった「みくに新聞」は、三国の歴史を知る上で大変貴重な資料です。

お持ちの人がいましたら、下記までご連絡ください。

☆室生犀星と「みくに新聞」
 室生犀星は明治42年に金沢裁判所を退職後、「みくに新聞」に勤務。しかし、論文や小説、詩ばかりを書いていたため、わずか1カ月で同社を退職、三国を去ることになりました。

☎ みくに図書館 81-2900



▲みくに新聞(明治40年11月25日)

シルバー人材センター会員を募集

あなたのキャリアを地域社会のために生かしませんか。

入会手続きおよび入会説明会への出席が必要になりますので、下記までお問い合わせください。

対象 市内に居住し、健康で働く意欲のある原則として60歳以上の人

- ☎ 市シルバー人材センター 本所 66-4541
 三国連絡所 81-4584
 丸岡連絡所 66-6071
 春江連絡所 51-6680

事業所必見！「新社会人の祭典」に参加しませんか

今春、新たに学校を卒業して、坂井市(春江町を除く)・あわら市の事業所へ就職する人を対象とした「新社会人の祭典」を開催します。

これは、式典や研修を通して、社会人としての責任と自覚を深めることを目的としています。ぜひご参加ください。

とき 4月5日(月) 14:00～16:30

ところ グランディア芳泉 (あわら市舟津43-26)

内容	第1部 式典
	第2部 研修
	社会人デビューセミナー
	演題 「考え方がその人の人生を決める」(仮題)
講師	(株)クロデザインスタジオ
	代表 黒田 クロ氏

申込方法 下記まで電話

☎ ハローワーク三国 81-3262

ファミリーサービスクラブ会員を募集

家事や育児、介護などを会員相互で助け合う「ファミリーサービスクラブ」の会員を募集しています。

会員登録には年会費800円が必要です。詳しくは下記までお問い合わせください。

- ☎ (財)ふくい女性財団 41-4254
 坂井地域ファミリーサービスクラブ (三国社会福祉センター内) 82-7745

市内の空き家 大募集！

「実家に誰も住まなくなった」「転勤で自宅が数年間だけ空いてしまう」といった空き家を活用してみませんか。

福井県不動産のれん会では、県の優良空き家利活用推進事業を行っており、そのような空き家に関する悩み・相談を無料で受け付けています。

詳しくはホームページをご覧ください。

☎ (社)福井県不動産のれん会 21-5151
 福井市御幸4丁目12-5
 http://www.norenkai.or.jp/akiya/

JICAボランティアを募集

今、開発途上国ではさまざまな分野であなたの技術や知識、豊かな経験が求められています。海の向こうでもう一つの意義ある人生を見つけてみませんか。

募集期間 4月1日(木)～5月17日(月)
 また、募集期間中に下記日程で「体験談&説明会」を実施します。ぜひご参加ください。

■青年海外協力隊(20歳～39歳)

とき	ところ
4月8日(木) 18:30～20:30	県国際交流会館
4月17日(土) 14:00～16:00	県立図書館
4月25日(日) 14:00～16:00	県国際交流会館

■シニア海外ボランティア (40歳～69歳)

とき 4月17日(土)10:30～
ところ 県立図書館
 ☎ JICA北陸 076-233-5931
 http://www.jica.go.jp

ONOメモリアル企画展「高見順展」

三国で生まれた詩人・高見順の作品の中から、日本を代表する詩人であり他の分野でも精力的に芸術活動を続ける高橋睦郎氏が選択した10点を展示します。

とき 3月19日(金)～7月11日(日)の金・土・日曜日
 および祝日
 10:00～14:00

ところ ONO MEMORIAL
入館料 300円 (高校生以下は無料)

☎ みくに龍翔館 82-5666



▲1907年、三国町生まれ。独特の文体で創作活動を行い、昭和の文壇に大きな功績を残す。代表作は『如何なる星の下に』詩集『死の淵より』など

ボーイスカウト坂井第5団 体験入隊&説明会

とき 3月28日(日) 10:00～13:00

ところ 春江中公民館
対象 小学校入学前から小学2年生までのお子さんとその保護者(男女問わず)

- 内容**
- 火おこし体験
 - ツイストパン焼き体験
 - テント設営
 - 吹き矢づくり など

参加費 無料

申込方法 下記まで電話で申し込み

☎ 春江南公民館 西畑 51-0829

参加無料 少年少女ヨット教室を開講

1回ごとの参加もできます。ヨットの楽しさを体験してみませんか。



内容	日時
4月11日(日)	9:30～16:00
5月16日(日)	
6月27日(日)	9:30～16:00
7月17日(土)	
18日(日)	9:30～16:00
9月4日(土)	
5日(日)	9:30～16:00
10月9日(土)	
10日(日)	9:30～16:00

ところ 三国競艇場
対象 小学3年生～中学3年生の男女

持参物 運動のできる服装、運動靴、着替え、雨がっぱ、弁当

申込方法 下記まで電話で申し込み(当日申し込みも可)

☎ (財)日本モーターボート競走会 三国支部「ヨット教室募集係」 77-3140

外国人のための無料相談会

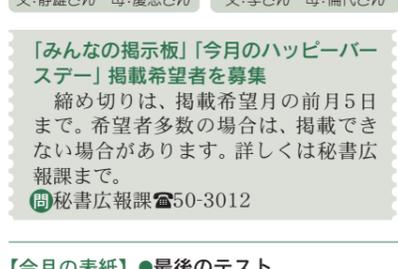
県行政書士会員が相談に応じます。事前に予約してください。

とき 3月28日(日) 13:00～16:00

ところ 春江中公民館
対象者 外国人および外国人に關係する人

相談内容 在留資格、資格変更、ビザ、雇用、結婚、国籍のことなど

☎ インターナショナルさかい 嶋本 080-1956-9493
 ※中国語に対応できます



名前	年齢	行政区	名前	年齢	行政区
三国町／			春江町／		
田中 昭	82	中元	佐野 敏憲	66	為国亀ヶ久保
岡崎 武男	82	石丸	村本 ゆりこ	89	江留上昭和
多田 健一	79	安島	野坂 保徳	92	中筋西
藤田 伸	73	池見	坪内 榮二	67	江留上旭
中本 正弘	54	宿	小林 與兵衛	81	安沢
井上 昭男	60	池見	大嶋 明星	85	江留上中央
三宅 光雄	83	上錦	田島 精一	85	中筋三ツ屋
村由 由三郎	83	南末広	島田 長治	95	江留上新町
米由 しづか	91	新保	山内 徳雄	70	春日野
山崎 彰	79	加戸東	木下 千代恵	95	大牧
福山 ハナ子	91	山岸	坪内 民男	85	為国幸
街道 敬子	59	加戸東	西村 徳夫	69	中庄
本田 秀一	81	上西	小林 美知子	73	金剛寺
田中 敬一	74	桜町	西畠 光子	78	江留上昭和
林 志津子	88	浜滝谷	長谷川 静枝	81	安沢
齊藤 三郎	90	池上	西澤 惣治郎	82	沖布目
村川 ヨシヲ	87	梶	五十嵐 勉	86	随応寺
奥野 輝雄	79	平山	北川 フサコ	94	針原東
福嶋 三枝	90	中元	米田 喜美子	86	江留上大和
久本 文子	80	仲滝谷	坂井町／		
笹木 元子	69	米ヶ脇	川端 りゆ子	91	田島
増田 スサエ	86	平山	永上 美知子	80	駅前
畑 純一	60	下錦	武藤 智子	77	清永
丸岡町／			山本 昭二	82	福島
久保田 百合子	85	四郎丸	伊藤 千代子	99	駅前
高島 義勝	87	下久米田下	五十嵐 俊雄	66	下新庄
八木 幸枝	83	中谷	武川 傳	92	木部東
大崎 昭洋	59	中石城戸	富田 カズ子	77	下兵庫
岡島 孝志	73	上田町	本家 みつ子	87	東
窪田 五智枝	83	御幸	白崎 利光	81	東荒井
中田 久子	74	磯部福庄	前川 榮作	89	長屋
林 静子	78	室町	三津屋 一男	75	新庄
野阪 雪月	0	下安田	熊谷 ミチエ	88	今井
川端 ときを	92	四郎丸	名前は全て人名漢字及び常用漢字で表記しています。		
長谷川 すさ子	94	四ツ屋			

市の
すがた

2月1日現在 ※()内は前月比、前年比

人口 **94,953**人(- 24, -223人) 男 46,070人(- 35, -138人)
世帯数 29,488戸(+ 14, + 62戸) 女 48,883人(+ 11, - 85人)

【今月の表紙】●最後のテスト
休校を目前にした竹田小学校。複式学級の1・2年生の教室では、テストが行われていた。使い慣れた木製の机に向かうのも、あとわずか。「大好きな学校、忘れないよ」。思い出を一つ一つ刻み込むように、丁寧に鉛筆を走らせていた。(竹田小学校)

座☆スマイル学園
よさこいメンバーを募集

今年のメンバーを募集しています。老若男女は問いません。「明るく！楽しく！元気に！」をテーマに一緒に盛り上がりましょう。

練習日時 毎週金曜日の夜
(シーズン時は日曜も追加)

座☆スマイル学園
代表 中田☎67-6501
✉stepzone@sr.incl.ne.jp

明交スポーツダンスクラブ
参加者を募集

美容と健康に、社交ダンスを楽しみませんか。ルンバやチャチャチャ、ワルツなどを行います。

とき 毎週火曜日19:00～
ところ 高椋公民館
会費 月1,000円
☎中村☎090-7599-0273

自衛防御方法を
学びませんか

女性や子供でもできる、粗暴行為からの逃れ方・避け方を学びます。

受講を希望する人は、下記までお問い合わせください。
とき 3月24日(水)
13:00～14:30
ところ 春江体育館
指導員 福井警察署員
☎予防協会 長田☎51-4742

弓道初心者教室(土曜の部)・
体験教室を開催

弓道協会の指導で、弓道を体験してみませんか。中学生から高齢者まで、誰でも参加できます。

とき 4月17日(土)開講
毎週土曜日と夏休み
10:00～12:00(全20回)

ところ トリムパークかなづ
弓道場
受講料 一般3,000円
学生2,000円

■無料体験教室も開催
とき 4月3日(土)10:00～12:00
☎トリムパークかなづ☎73-7272
吉田☎090-1315-5250

春江大好きプロジェクト
イースターパーティー

キリスト教の復活祭を一緒に楽しみませんか。

とき 4月4日(日)13:00～
ところ ゆりの里公園
内容 ・イースターエッグハント
・マレットゴルフ
・劇「イースターリリー」
・イースターカフェ

定員 親子50組
参加費 1人300円(3歳以下は無料)
申込方法 下記まで電話またはFAX
申込締切 3月28日(日)
☎春江大好きプロジェクト 木川☎090-4323-3714
☎58-0339

55歳以上の人へ
ソフトバレーを楽しもう

バドミントンコートを利用した、軟らかいボールで楽しむ6人制のバレーボールです。

健康のために何かをしたい人、下記までご連絡ください。特に春江町、坂井町の人をお待ちしています。

☎市シルバーソフトバレーボール連盟
川畑☎82-0585
白嶋☎66-1069

パソコン入門講座
受講生を募集

■ワード基礎
とき 4月1日(木)・6日(火)・
8日(木)・13日(火)の
13:00～16:00

■エクセル基礎
とき 4月15日(木)・20日(火)・
22日(木)・27日(火)の
13:00～16:00

ところ 高椋公民館
受講料 4,500円(12時間)
※資料代を含む
定員 各20人

両講座とも開始3日前までに、はがきかFAXで下記に申し込んでください。

☎NPO法人いきいきITクラブ
道見☎66-0876 ☎67-8385
〒910-0246
丸岡町西瓜屋10-25

ケーブルテレビ加入者の方へ
地デジ092ch 坂井チャンネル
3月1日より放送中!
詳しくは、ケーブルテレビチャンネルガイドまたはお客様センターへ
※デジタル529chは2月末で放送終了となりました
※アナログ29chはアナログ放送終了まで放送する予定です
SCTV さかいケーブルテレビ株式会社 お客様センター ☎0120-05-5710 【受付時間】AM9:00～PM10:00 (年中無休)

特典付き
前写し
ご予約済みです
入学 卒業
2回撮りキャンペーン中!!
撮影料半額など、お得なプランをご用意しております
〒910-0246 坂井市丸岡町西瓜屋2-18-5 TEL. 0776-66-8505
Photo Studio KOYO 写真の光陽 検索

広告掲載を希望する事業者を大募集!
広報さかいと市ホームページの広告を募集しています。連続して掲載する場合には、特別割引もあります。市外事業所もOK! 事業者の皆さん、どうぞご応募ください。
掲載料 広報さかい 1枠20,000円/回
ホームページ(バナー) 1枠10,000円/月
※詳細は、市ホームページか秘書広報課まで☎50-3012



「ふれんず」は坂井チャンネルでもご覧いただけます！
 今回の内容は、3/15(月)～4/14(水)まで放送します。
 お楽しみに！ ☎秘書広報課 ☎50-3012

目指すのは 勝つことよりも 克つこと

容 赦なく打ち込んでくるシャトルを果敢に拾う。その俊敏な動きと、狙いを外さない正確さとしなやかさは、神々しいほどの野性美を誇るヒョウのよう。可能性の極限に挑む仲間たち、それが「春江バドミントンスポーツ少年団」だ。

欲のある中学生も受け入れられている。「絶対に負けたくなかった」と、西江彩花さん(春江東小6年)は県大会でのベスト16を悔しがる。しかし、21年度の坂井地区小学生大会では春と秋を連覇するなど技術は高く、「全日本の選手になるのが夢」と笑顔を見せる。

同団出身で、現在はコーチとして指導に当たる矢木公治さん(春江町いちい野中央



シャトルノックで、ストップ・ダッシュの連続にも見事なフットワークをみせる団員

春江バドミントンスポーツ少年団



メンバー 14人
 代表 重森 忍さん
 (春江町江留下宇和江)

コメント
 月曜日は春江小体育館で、水・土曜日は春江体育館で練習しています。メンバーは小学生から高校生まで幅広く、和気あいあいとした雰囲気です。うまくなりたい人は、ぜひ参加を。

は、シャトルノック用マシンを手作り。練習の効率化にも智恵を絞る。「諦めないこと、自分で考え努力することを学んでほしい」と、団員に優しいまなざしを向ける。

競争に勝つことよりも、己に克つこと。勉強もスポーツも、努力は決して裏切らない。厳しさを乗り越越えた先にある喜びに気付き始めた、熱き戦士たちだ。

編集後記

▼山の雪が溶けて川の水となり、花のつぼみもほころび出すこの頃、花粉たちも一斉に飛び交います▼新型インフルエンザには負けなかったのに、花粉の前では否応なしにマスク姿：完全に「名前負け」してます。(杉)▼胃カメラを初体験。周囲からその苦痛をさんざん聞き、不安なまま検査へ▼実際はカメラを飲む瞬間より、前夜からの絶食で空腹の方がキツく、普段いかに口に運んでいるかを痛感。よく働いてくれてありがとう♪私の胃。(純)



過去を、砂時計みたいにひっくり返したら楽しいときはずっと続くと思えた、あのころ――。

今なら分かる。
 あのころも、今も、これからも
 すべてがかけがえのないものなんだってこと。
 (昭和20年代の竹田小学校)

※写真提供 山本隆子さん(丸岡町山口)

純
 な
 旅

平成22年3月11日

発行 坂井市 編集 秘書広報課

〒919-0592
 福井県坂井市坂井町下新庄第1号1番地
 TEL 0776-66-1500 FAX 0776-66-4837
 URL http://www.city.fukui-sakai.jp/
 E-mail kouhou@city.fukui-sakai.jp